

西夏語と近代漢語の成立について

『長田夏樹論述集（上）』第32章

（原載：『京都産業大学・国際言語科学研究所所報』第18号，1997年3月）

本論は、西夏語の文法カテゴリー、1人称代名詞複数の包括形・排除形の区別、及び「方向標識」（方向を示す動詞接頭辞）を述べ、それらが近代漢語の成立に影響を及ぼした可能性を示したものである。

本論は4節からなる。1節は史料における西夏文字に関する概説である。2節は西夏語に特有の「人称代名詞の呼応」現象を、西夏語訳『類林』の例文とともに述べたものである。3節は「1人称代名詞複数の包括形・排除形」について、『類林』の例文より明らかにし、『元朝秘史』蒙古語・北京語の1人称代名詞複数の2形式との関係を示唆する。4節は西夏語の「方向を表わす前置の助動詞」（一般に「方向を示す動詞接頭辞」）を、やはり『類林』の例とともに紹介し、元代の雑劇の例と比較することによって、漢語の趨向動詞の発達に西夏語の文法カテゴリーが影響した可能性を説く。

長田先生が西夏語、西夏文献に関して深い知識と強い関心をお持ちだったことはよく知られている。発表された論文は多くはないが、それぞれ非凡なテーマを扱われていることも指摘できよう。西夏語は、資料とする文献ごとに、漢文・藏文の直訳体かそうでないか、西夏語独自の文法要素が見られるかどうかを見極めなければならない。『類林』は各種文法要素の出現が興味深く、Kepping (Кепинг1983 他)、林英津 (林1993 他ら) 西夏語文法の研究者が早くから着目し、今なお西夏語文法研究に必須の資料である。この資料に着目され、「人称代名詞の呼応」「方向接辞」という、チベット・ビルマ語学でも先鋭的なテーマに意欲的に挑戦されたことは慧眼と言ってよいだろう。

本文ではややわかりにくいため、西夏語1人称代名詞複数の包括形・排除形をそれぞれ示す。（音形は評者による）

包括形 𐵄𐵆𐵇 𐵄ga: 𐵄mi:

排除形 𐵄𐵆𐵇 𐵄gl: 𐵄mi:

ただし、研究者によってこれらの代名詞の意味は見解が分かれる。長田説が正しかったとしても、これらの形式は西夏語仏典などでは用例が少なく、包括・排除の区別が積極的に行われていたかは定かでない。付け加えれば、長田先生のご指摘通りの区別があったにしても、漢語の文法カテゴリーに影響しえたかどうかは今後の研究を待たねばならない。

もう一つ指摘しておきたい。長田先生が指摘するように、西夏語の動詞句に各種の接頭辞が付され、あるグループは「動作の方向」を示したことは間違いない。ただし、西田1989:

418-9が指摘するように、方向指示機能はやがて完了態表示へと変わったと推測されている。評者の課題とする仏典においてもこれらの接頭辞は「～した」という動作の完了を表し、動作の方向をうかがわせることはほとんどない。記録されている西夏語においても方向指示機能は衰退していた可能性が高いため、本論のように、近代漢語に積極的に影響を与えたか、評者には判断できない。

やや批判的な紹介となったが、異なる言語の文法カテゴリーに関する考察は、広い見識と深い考察からはじめて成立するものであり、先生のご業績の一つとして傾聴すべきであろう。

図版

俄羅斯科学院東方研究所聖彼得堡分所，中国社会科学院民族研究所，上海古籍出版社編

1999 『俄羅斯科学院東方研究所聖彼得堡分所蔵黒水城文献』11（西夏文世俗部分），上海：上海古籍出版社。（pp. 221-332 に西夏文『類林』の写真図版）

主要参考文献・関連文献

Кепинг, К. В. (Керпинг, К. В.)

1983 *Лес категорий*. Наука, Москва. (『類林』, ナウカ, モスクワ)

1985 *Тангутский язык. Морфология*. Наука, Москва. (『西夏語—形態論』, ナウカ, モスクワ)

李範文

1997 『夏漢字典』, 中国社会科学出版社, 北京（増補修正本 2008）

林英津

1993 「西夏語具有空間意義的語詞」『中央研究院歷史語言研究所集刊』62 : 677-716

Невский, Н. А. (Nevsky, N. A., 聶歷山)

1960 *Тангутская филология* 1, 2. Издательство восточной литературы, Москва. (『西夏語文献学』1, 2, 東洋文献出版社, モスクワ)

西田龍雄

1966 『西夏語の研究—西夏語の再構成と西夏文字の解読』II, 座右宝刊行会

1989 「西夏語」『言語学大辞典』中巻, 三省堂 : 408-429

史金波・黄振音・聶鴻音

1993 『類林研究』, 寧夏人民出版社, 銀川

(荒川慎太郎)